

2010年度

科目名	衛生・公衆衛生学		
担当教員	尾川 信之		
配当	人社1	コード	43820
開期	前期	講時	木曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	人々の生活に対して衛生学・公衆衛生学が果たす役割を学ぶ。		
目的と概要	<p>縄文時代の平均寿命は14.5歳と推定されています。当時では学生の皆さんは長寿者になります。約100年前の明治・大正時代の平均寿命は39.5歳です。当時では皆さんは人生の折り返し時点ということになります。今や日本は世界トップの平均寿命国となり、高齢化社会に突入しています。今や人生80年時代となり、この背景には医療技術など様々な進歩が寄与しています。また、衛生学・公衆衛生学の果たした役割も大きなものです。本授業では、衛生学・公衆衛生学が私たちの生活にどのように関係しているのかについて学びます。授業では毎回、前回の基本事項確認のミニテストを行います。</p>		
成績評価法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時ミニテスト 55点(5点×11回) ・中間テスト 25点 ・期末テスト 20点 ・単位非認定 <p>6回以上欠席した場合、もしくはテスト合計点60点未満</p>		
テキスト	配付をします。		
参考書	必要に応じて紹介します。		
履修に当たっての注意・助言	毎回ミニテストがありますので、授業では集中して臨んでください。		
講義計画			
<p>第1回 歴史から衛生学・公衆衛生学を考へてみる 1. 平城京での暮らしを想像する、2. ある研究者の素朴な疑問がもたらした大発見 ～どうしてエスキモーは心筋梗塞・動脈硬化が少ないのか～、3. 衛生学・公衆衛生学とは 第2～3回 国家人口の意味するところ 1. 人口動態、2. 生命表、3. 人口動態と国家経済 第4～5回 生活習慣と病気 1. 成人病と生活習慣病、2. 生活習慣病の予防 第6回 感染症とその予防 1. 感染症とは、2. 一般感染と日和見感染、3. 世界の感染症死亡者数、4. 新興感染症、5. 感染症予防、6. 院内感染 第7回 食中毒とその予防 1. 日本の食中毒発生状況、2. 食中毒の発生病因物質、3. 細菌とは、ウイルスとは、4. 自然毒：フグ毒 5. 食中毒の症状、6. 食中毒発生時の国の対応、7. 事例：食中毒事件、生食用牡蠣・加熱用牡蠣の違い 第8回 中間まとめ 第9回 疫学の貢献 1. 疫学調査とは、2. 疫学調査事例：水俣病、3. 疫学調査事例：脳血管疾患と食塩 4. 疫学調査事例：心疾患とEPA 第10回 環境衛生 1. 公害から環境保護に至るまで、2. 公害・環境対策に向けた技術開発、3. 環境ホルモン 第11～12回 日本の医療制度と地域保健活動 1. 国民皆保険制度、2. 国民医療費、3. 地域保健活動の仕組みづくり、4. 保健所の役割、5. 医療サービス 6. リハビリとは機能回復か？ 第13回 母子保健 1. 日本の出生率と死亡率、2. ユニセフ世界子供白書から世界の母子保健を考える 3. 日本の母子保健サービス 第14回 学校保健 1. 日本の学校数・生徒数・教員数、2. 日本の社会教育施設数、3. 日本の生徒の体格 4. 日本の生徒の基礎的運動能力、5. 学校保健、6. 保健体育指導要領 第15回 総合まとめ</p>			